

## 米子市まちづくりビジョン（素案）に対する意見募集結果

提案・意見の概要	市の考え方と対応方針
<p>1 市の将来像は「住んで楽しいまち よなご」とあるが、「楽しいまち」ではなく「活気のあるまち」若しくは「活気みなぎるまち」の方が良い。</p> <p>「楽しい」は「楽（らく）」に通じる。困難な課題に失敗しても何度でも挑戦できる、活力みなぎる街をめざす。特に次代を担う世代にあらゆる分野で挑戦的に生きて欲しい。</p> <p>活気は人が集まり作り出すもの。米子は未来永遠に、活気あるまちであるべき。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、本市は今後も活気あるまちづくりを目指す必要があると考えています。</p> <p>市の将来像は、交通基盤とインフラを整え、歴史や文化、暮らしやすさを踏まえて、官民連携を通じたまちづくりを進め、産業が豊かで人や物の交流が活発で、暮らしやすいまちづくりを目指したい、という思いを込めて『住んで楽しいまち よなご』にしたいと考えていますが、よりふさわしい表現がないか精査します。</p>
<p>2 まちづくりの基本目標について、「インフラ（社会的共通基盤）の整備」にしてはどうか。</p> <p>○ひと・もの 自由な往来を実現する交通網の整備が必要</p> <p>○資金・情報 インターネット環境の整備が必要</p> <p>公民館にインターネット環境を整える。また、図書館、美術館、体育館、市役所など市の公共施設すべてにインターネット環境を整備し、無料で使い放題としてはどうか。または、時間を区切って有料とするなどしてはどうか。</p>	<p>まちづくりの基本目標「公共交通を中心とするまちづくり」は、ご提案のあった意図等も踏まえて、より広義な表現とならないか、よりふさわしい表現がないか精査します。</p> <p>ご意見のとおり、ひと・ものが自由な往来を実現する交通網の整備には、道路や鉄道等の交通基盤の整備（インフラ整備）が必要であり、その取組を進めていきます。</p> <p>なお、公衆無線LAN等のインターネット環境の導入については、公共施設の特性に応じ、個別に検討しているところです。</p>
<p>3 まちづくりの基本目標について、「市民が主役の共に生きるまちづくり」は「共に生きるまちづくり」にしてはどうか。</p> <p>支えあうだけでは共倒れになる。互いに競い合うことでより強くなり、その結果として支え合っていることになる。</p>	<p>まちづくりの基本目標「市民が主役の共に生きるまちづくり」は、市民の皆さんに主体的にまちづくりに関わっていただくとともに、共生のまちづくりを進めたいという考えから、「市民が主役の共に生きるまちづくり」としてはありますが、ご提案のあった意図も踏まえ、よりふさわしい表現がないか精査します。</p> <p>今後本格的な人口減少、高齢化が見込まれる中、暮らしを支える機能の低下が懸念されており、公共私それぞれの役割を果たしつつ、相互に連携することで支えあうまちづくりを目指していきたいと考えています。</p>

提案・意見の概要	市の考え方と対応方針
<p>4 まちづくりの基本目標について、「教育・子育てのまちづくり」は「子育て・教育」にしてはどうか。</p>	<p>まちづくりの基本目標「教育・子育てのまちづくり」は、分かりやすい表現にしたいという考えから「教育・子育てのまちづくり」としてはありますが、よりふさわしい表現がないか精査します。</p>
<p>5 まちづくりの基本目標「新商都・所得向上をめざすまちづくり」は「新産業創出」にしてはどうか。</p> <p>商都米子の復活にこだわらないことがポイント。</p> <p>周辺地域から人が集まり買物をする中でにぎわう商都米子ではなく、ブランド化した物・サービス業を提供することにより他にはない競争力を持つ、産業を創出するまちであることが大切。</p> <p>農業、工業、サービス業を次々と新しい発想で生み出し、域内流通にこだわらず、インターネットを活用して、全国、海外へ物・サービスを提供することが大切。</p>	<p>まちづくりの基本目標「新商都・所得向上をめざすまちづくり」は、地産外商等の取組により、地域全体で所得向上を図りたいという考えから、「新商都・所得向上をめざすまちづくり」としてはありますが、よりよい表現がないか精査します。</p> <p>農業のブランド化、海外展開は農業経営の安定・強化につながるものと考えており、既存特産品の品質向上や6次産業化の推進などの取組により、ブランド化、海外展開へつなげていきます。</p> <p>商工業の商品のブランド化および海外展開を含む販路開拓については、中海・穴道湖・大山圏域市長会、経済団体、民間事業者等が取組を行っており、本市も協力し、推進していきます。</p>
<p>6 歴史・文化に根ざしたまちとは何のためなのか。人が集まる、にぎわいのあるまちとするために、観光、教育資源として地域ブランドの風土づくりをするのであって、それ自体が目的ではない。</p>	<p>まちづくりの基本目標「歴史と文化に根ざしたまちづくり」は歴史・文化資源を適切に保存・管理しながらその価値や魅力を情報発信し、活用することによりにぎわい創出につなげ、また、市民に親しまれ、郷土を愛する心の源となることを目指したいという考えから、「歴史と文化に根ざしたまちづくり」としてはありますが、よりよい表現がないか精査します。</p>

提案・意見の概要	市の考え方と対応方針
<p>7 まちづくりの基本目標について、「スポーツ健康まちづくり」は「スポーツ・文化芸術はなひろく」にしてはどうか。</p> <p>スポーツ・健康の施策は余暇活動としてのスポーツ振興に特化するだけでなく、競技スポーツ振興を第一として位置づけるべき。競技スポーツのすそ野の広がりの中に、幅広い年代の健全な余暇活動としてのスポーツ、文化芸術活動がある。</p>	<p>まちづくりの基本目標「スポーツ健康まちづくり」は、スポーツ振興および健康増進に関する取組であり、分かりやすい表現にしたいという考えから「スポーツ健康まちづくり」としていますが、よりふさわしい表現がないか精査します。</p> <p>なお、ご意見をいただいたスポーツ施策のあり方の考え方について、スポーツはアスリートとしての競技活動を引退した時で終わるものではなく、その後の人生においても継続していきけるものと考えています。また、競技スポーツにかかわらず、スポーツ実施率向上の観点から、幅広い対象に向けた施策を実施していきます。</p> <p>一方で、全体の競技人口の増加など、競技スポーツが一般のスポーツ愛好家にもたらす良い影響もあり、競技スポーツ振興が図れる環境についても整備していかなければならないと考えています。</p>
<p>8 まちづくりの基本目標について、「災害に強いまちづくり」は「防災・減災」にしてはどうか。</p> <p>災害に強いまちづくりは、環境（自然、施設）づくりよりも人のつながり、地域づくりによる災害対応が重要。様々な想定を具体的にし、訓練をすることが大切である。</p>	<p>まちづくりの基本目標「災害に強いまちづくり」は、防災・減災のみならず、社会基盤の強靱化などの取組も含めており、みなさんに分かりやすい表現にしたいという考えから、「災害に強いまちづくり」としていますが、よりふさわしい表現がないか精査します。</p> <p>なお、ご指摘のとおり、災害に強いまちづくりには「人のつながり」や「地域づくり」そして「訓練」が重要であると考えております。ご指摘事項を踏まえ地域防災力の向上そして減災・防災に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>9 これからは行政主体のまちづくりではなく、当事者意識を持った市民が主体的に参画するまちづくりをすることが必要。</p> <p>市民は、行政サービスの受益者としてだけでなく、自らが様々な形で必要なサービスを提供し、一人ひとりがまちづくりの主役となる、市民参画・市民参加のまちづくりが重要。このことをまちづくりの理念として施策を進めることが重要。</p>	<p>米子市民自治基本条例では、本市のまちづくりを、行政活動だけでなく経済活動なども含めた本市の文化や風土の形成に係るあらゆる活動と定義するとともに、市民はこれに積極的に参加するとしており、「米子市まちづくりビジョン」もこのような考え方に立って策定しようとするものです。</p> <p>また、まちづくりビジョンの推進に当たっては、積極的に市民に参加いただきながら施策を実施していきたいと考えています。</p>

提案・意見の概要	市の考え方と対応方針
10 ボランティアについて、実際に顔の見える関係での協力が必要。	ボランティアについては、これまでも市民のみなさんに積極的に参加していただいておりますが、今後もより一層の参加が必要であり、市としても関係団体と連携して参加を促していきます。
11 資金について、税金の形だけではなく、種々の自由活発なファンドを活用してはどうか。	資金調達については、過去にガバメントクラウドファンディングを活用した事例もあり、今後も事業の内容・性質等に応じて様々な方法を検討しながらその活用を考えていきます。
12 まちづくりのアイデア（知恵）について、パブリックコメントだけではなく、SNSを利用したサイバー空間での議論をしてはどうか。	まちづくりのアイデアについては、市民のみなさんから幅広く意見を伺いたいと考えています。パブリックコメントはインターネットを使用できる環境にない方にとっても有効な手法であり、今後も活用していきますが、その他の手法については有効性や費用対効果も含めて研究及び検討していきます。
13 和田町には店が無い。平成30年に免許返納をした。 だんだんバスについて、旧市内と新市内との差、いつもどうしてかと思う。週1回でも通ってもらいたい。高齢者には意見をする場所がない。 25,000円のプレミアム商品券について、広報で出先機関等で手続きができると見たが、そんな親切はなかった。広報で参加店が載っていただけで、その前の手続きが分からない。市役所まで1,000円のバス代を使って出かけて、手続きが一回だけはできない。もっと有効な手立てはないか。	だんだんバスは、公共交通機関の活性化を目的に、路線バスや鉄道を利用して中心市街地に來られた方が、その周辺の主要な公共施設、医療機関及び商業施設等を利用しやすいように運行経路を設定して運行しています。 そのため、各地域における移動手段の確保については、既存のバス路線の活用も含めて地域公共交通体系全体の検討のなかで考えていきます。 プレミアム付商品券は市内の指定販売店舗で購入可能ですが、購入の際には引き換え券が必要です。引き換え券の申請は、申請される方の負担軽減のため、市役所へ出向かずに郵送で行っていただけるようになっています。 交付の要件を満たす可能性のある方へは申請書と要件を確認いただくチャートや記入例を記載した文書、返信用封筒を同封のうえ送付させていただきました。また、よりきめ細かい対応のため、申請から商品券使用に至るまで詳細をお問い合わせいただけるコールセンターを開設して相談を受け付けていますので、ご利用ください。